

パネルディスカッション



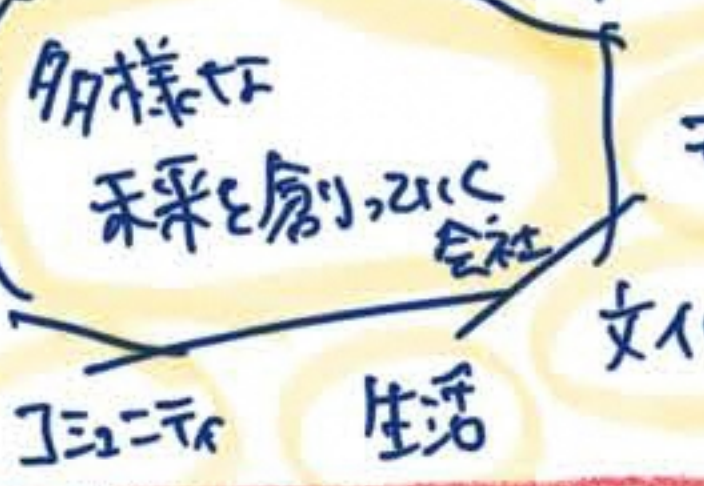
松本先生 (コーディネーター)

寺田さん 自己紹介

- 多摩市民
- 2017 - HITOTOWA
- 2018 とよみ」の活動

自分も何かやしてみよう!

社 ニュースマガジン社 設立



「報ポル」>ポスト
メディア
・農を生活に取り入れること
新「旧」エッセンシャル
イベントの実施。

多摩NT。街ができて50年...

市長



「コミュニティ」にまちづくりの基本があると思った。
- 子育て世代
- 高齢の女性

コミュニティの再生 共同体

行政が上から行うのではなく、
お互いに支え合うまちが大切と思った。
今の時代に合った、関係性づくりがキーワード

どうしたら笑顔のまちづくりが進められるか考えていきたい。

寺田さん



なぜ「初住者」に至ったのか...? ⇒ 自分にとっての居場所になった。



1人1人が実感できるまちを大切にしていこう

黒川



自己実現とセーフティネットは有机的に繋がっている!! ⇒ 居場所ととても大事!
ヒトワデバでできるのはよく、
「居る人みんな」について関係性。その深さが個人の心地良さに繋がっている。

まちづくりのゴール設定... 多摩NTでのヒトはありますか?

時間軸、世代の違い... いろいろあるけど... 大切なのは、

議論のデザイン!!

違いを認め合うプロセス大事!!

ここからの日本の一歩先に行く

多摩NT

知名度ある ⇒ プランニングに有効!

チャンスがある

小さいスケールでのひとりひとりに寄り添う取り組み。実行、継続!

多世代が「つながる」ヒントありますか...?

- 文化、街に「対する」想いを「伝える」として「つながる」ことが大事なんだよ。
- 「対する」関係性も大事に。
- 「つながり」をベースに、一緒に活動をしていく事

時間ばかり「手」が大事だよ

寺田さん

ひとこと

- 色々な人が「やり」たい事を実現できる環境づくり大事。一番最適な空間づくり。
- 行政は黒子。しっかり支えていってほしい。
- 文化を大切にして「つながり」を促していく。

まちを「生かす」ものである「まち」の人が「主役」

「つながり」を「支え」ていってほしい



市長

地域の「炎」を大きく育てていってほしい!!

世代間交流を進めるポイントは?

「やり」たい事は

「自然」に「生かす」こと。

「自然」に「いる」。



最初から「分け」たい。

「つながり」の「デザイン」も大事。

顔が見える「関係」が「できた」ら...

参加の裾野を広げるために、何が「必要」なの?

やはり「情報」発信。

その「地域」で「何が」有効「か」?

「ネット」、SNS 等。

いろいろ「組み合わせ」る。

「チラシ」・「紙」の方が「見」え「る」。



7/23/2018